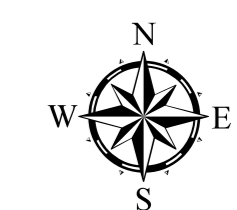
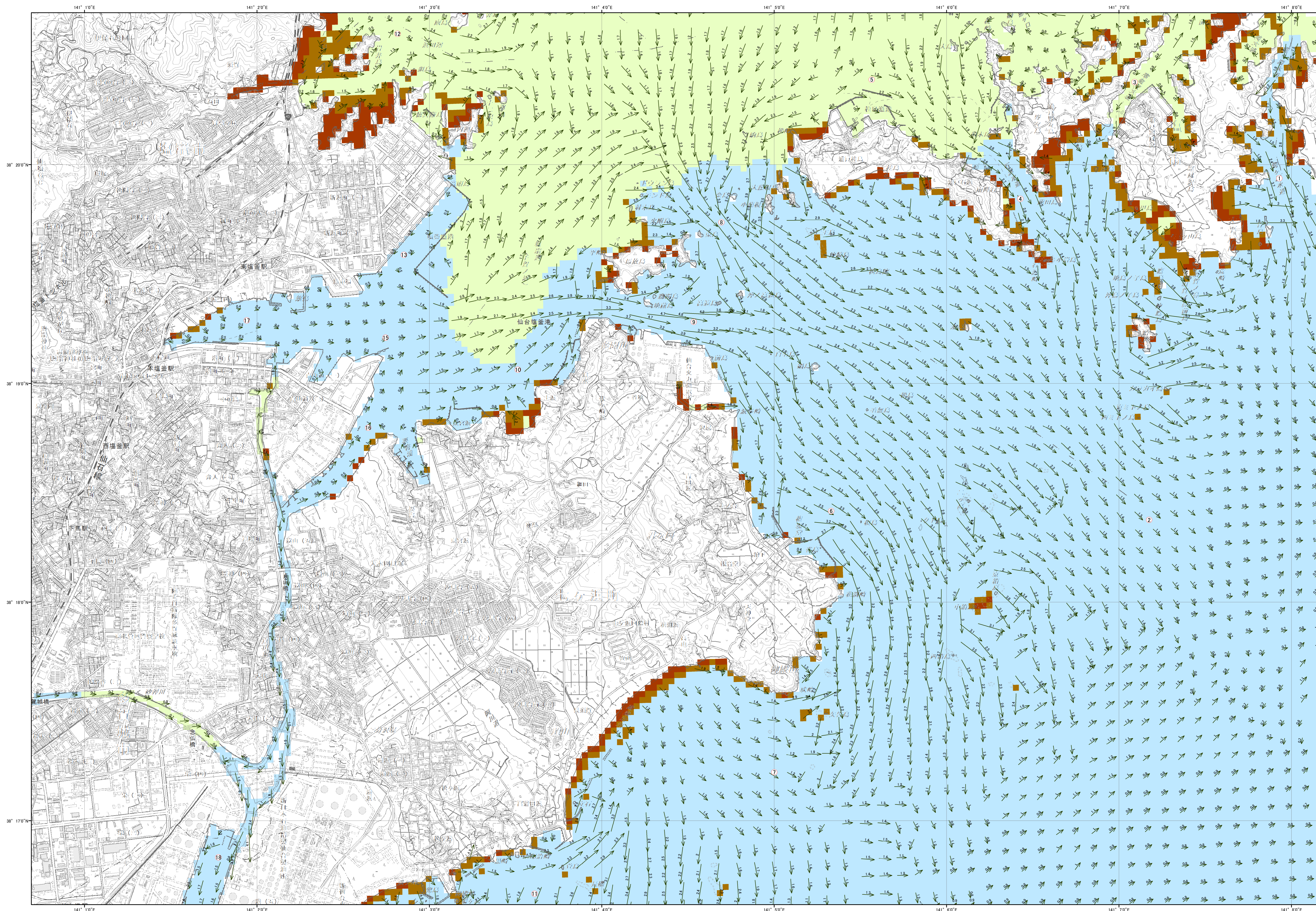


計算条件：最低水面(零位)  
隆起量：平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)  
Z0：0.92m  
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



投影系：メルカトル図法  
測地系：世界測地系(WGS84)



凡例

最大水位低下

0.5~最大1.8m

0.5未満

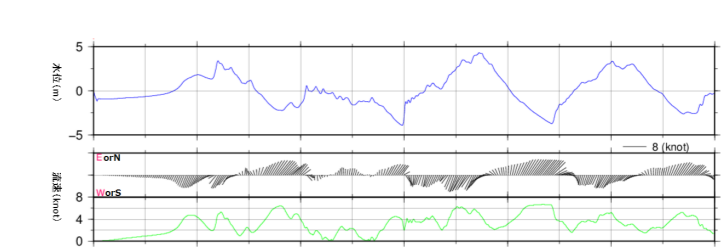
干出域

露出域

経時変化出力点

(図上の位置における津波の挙動を時間の経時変化図で示す。)

水位、流向、流速経時変化図



引潮時最大流 [knot]

3 knot

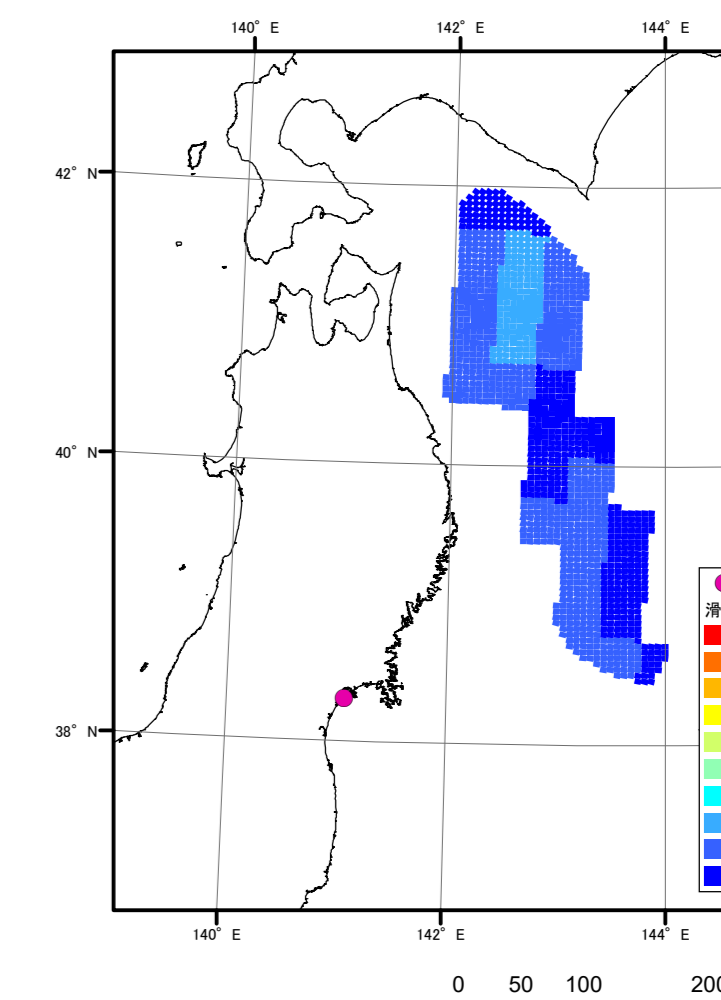
2 knot

1 knot

防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

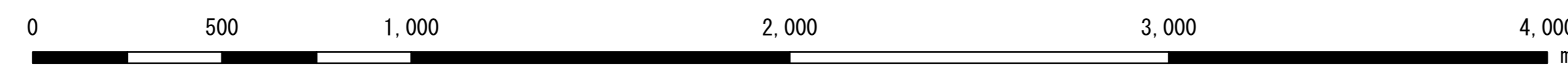
流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
・海上保安庁が保有する水深データ  
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保、第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、平成19年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

作成機関：海上保安庁  
防災情報図作成年月：平成29年9月(初版)  
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)